

平成 22 年度
高校生ものづくりコンテスト 2010 東北大会兼全国予選会
—自動車整備部門—

山形県立東根工業高等学校
自動車工学科 松田 浩明

1 はじめに

今回、2 度目となる東北大会の運営を行った。2 回目であったため、前回の経験や反省を活かし運営することができた。しかし、東北地区において、自動車整備分門に参加する学科が固定化しており、スムーズな運営は勿論のことであるが可能な範囲で参加校を増やし、競技力の向上を図ろうとしたが結果的には前回と同じ状況であった。

2 大会概要

1) 期日

平成 22 年 8 月 6 日（金曜日）～ 7 日（土曜日）

2) 会場

山形県立職業能力開発専門学校
実習施設・設備及び校内施設

2) 日程

第 1 日目

～ 14:30 受付・ゼッケン配布
14:30 ～ 16:00 競技上の注意・会場下見

第 2 日目

9:00～ 9:20 受付（視聴覚室）
9:20～ 9:50 開会式・諸注意
9:50～ 11:40 競技
11:40 ～ 13:00 昼食休憩・集計
13:00 ～ 13:30 成績発表・閉会式



3 課題

課題は全国大会の課題に準じ、課題Ⅰ「学科試験」、課題Ⅱ「測定作業」、課題Ⅲ「定期点検・車両取り扱い」、課題Ⅳ「エンジン故障探求」の 4 課題である。特に、課題Ⅲ及び課題Ⅳは毎年使用する車両が変わるため、それに合わせ準備しなければならない。今回は「トヨタ マークⅡ グランで G」という車種であった。準備するため、ディーラ・中古車販売店などに当該車種の手配を早くから依頼し

ていたが、本県での販売台数が少ないということや現役で動いている車が大半であるという理由から手配することができなく、やむなく定期点検用として「トヨタ カローラ」、エンジン故障探求用エンジンとして「トヨタ ベンチエンジン 1G-FE」を使用することとした。



4 競技

各競技時間は全て 20 分間である。特に課題Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは正解だけではなく、その作業内容や手順も審査対象となり、得点の中に加算されます。その審査には外部審査委員を依頼した。前回同様、自動車整備振興会及び会場校の山形県立職業能力開発校から協力を頂き各課題に 1 名監督者を配置できた。

配点は全国大会に倣い各課題 100 点で総合計 400 点満点で採点した。

5 結果

- 1 位 志田 将馬君（山形県 東根工業高校）
- 2 位 四ノ宮啓太君（宮城県 米谷工業高校）
- 3 位 佐藤 大樹君（秋田県 男鹿工業高校）

となり、志田将馬君（山形）が全国大会出場となった。

6 まとめ

今回は全国大会で使用する車種が準備できなく参加校には大変なご迷惑をお掛けしたが、けが人やトラブルも無く大会を終了できたことは事務局として何よりである。

初回の東北大会より参加県が固定化しており、今後多くの県が参加できるようにしたいものである。また、未だに全国大会で上位入賞が無いため、全国大会で好成績を望める指導を行っていきたい。末筆ではあるが、今回の大会にご協力いただいた関係各位に感謝申し上げ報告とする。